



「障害者」と呼ばれる人が「普通に」生きる社会とは

イロトリドリの世界へII ゼー・マライオン

イロトリドリの世界へII

特集



石井秀弦
(津軽三味線)

上之園謙治
(パーカッション)

出演



ゲスト
山内達哉 (バイオリン) : 上、
田島良一 (ピアノ) : 中、
竹下信行 (ウッドベース) : 下

※未就学児童も 入場できます。

(一般・前売りのみ)

ペア / 3,000円

(前売) / 5,000円

小学生・高校生 / 1,000円

料金 一般 / 2,000円

午後1時30分 / 開場

午後2時 / 開演

日時 12月15日(土)

みんな三股にあつまれ～！ひろみちお兄さんと体操しよう！
うたのおねえさんのコンサートもあるよ！

DOYO組 & ひろみちお兄さんの 親子体操教室

佐藤弘道



DOYO組 (やべせいこ&そがまみこ)

■内容：一部 / DOYO組の童謡コンサート
二部 / ひろみちお兄さんの親子体操教室

■日時：1月19日(土)
午後2時開演 (開場は午後1時30分)

■チケット料金
親子ペア券…3,000円 (当日4,000円)

※児童は、未就学児童で3歳～6歳に限らせていただきます。
※チケット購入枚数は、1枚に限らせていただきます。

■チケット発売
12月16日(日曜日) 午前10時 発売開始
場所 町立文化会館

■曲目 (DOYO組)
雪、たき火、冬景色、旅立ちの日に ほか

■出演
佐藤弘道、DOYO組 (やべせいこ&そがまみこ)

■予定上演時間
一部：DOYO組の童謡コンサート 20分
～ 休憩 ～
二部：ひろみちお兄さんの親子体操教室 60分

※当日は動きやすい服装でご来場ください。 ※内容に変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。

おん ち しん 新

— 古典、そしてモダン —

P2～P7 までは、取材対象者様の希望で非掲載です

三股町としての 取り組み

Town of the Normalization, MIMATA

Interview

現代の地域社会には、一人ひとりの思いを点ではなく、人と人とが結びつき、その線が面として広がっていくような地域づくりが求められています。

本町が本年3月に作成した「三股町障害者基本計画」とその細部をまとめた「三股町第一期障害福祉計画」では、今後地域住民が主体となって「障害者」とともに行う地域づくり、言わば地域社会の面作りへのお手伝いといったパートナーシップ型の計画となっています。本計画の推進には、30人の障害者自立支援協議会がその管理や評価を随時行い、計画の遂行状況を町民の皆さんにお知らせしていく予定です。



三股町役場
福祉課 課長 下石 年成

ノーマライゼーションの まちづくり

本町は、すべての町民が人間として「普通」(ノーマル)の生活を送り、共に生きる社会を作り上げるため、今年3月、「障害者基本計画」と「第一期障害福祉計画」を作成。「障害者」と「障害者」にかかわる人たちを集め、話し合いながら計画の作成を進めました。

「計画」では、基本理念を「一人ひとりが輝き ともに歩み ともに支え合い 心あたたまる三股町」として、「障害者」が自立して普通に暮らせるまちづくり、地域に住む人が障害のあるなしや老若男女を問わず自然に交わり、支え合うまちづくり(ノーマライゼーションのまちづくり)を推進し、「自立と共生」の地域づくりを目指すこととしています。そして、町民とともにさまざまな施策を随時細部まで検討し、評価を行うことで、社会変動に応じた適切なサービスを行うこととしています。

「出会いがわたしの心を豊かにしてくれた」

梶山小学校5年生 山田真由さん

「どうしよう。困ったな。」
わたしは、周りの人たちを見回して不安と緊張で、胸がどきどきしていました。しかし、この出会いが、わたしの心をこんなにも豊かにしてくれるとは夢にも思いませんでした。
わたしが行ったのは、三股駅前で行われたチャリティービアガーデンでした。家族と来ていたのですが、今座っているのは、予約してあった机の前で、いつの間にか周りには障害のある人しかいませんでした。
「話し掛けられたらどうしよう。」
わたしは、これまで障害のある人と話したことがありませんでした。どちらかというところ、避けてきたと思います。ところが、周りは障害のある人ばかりです。時間がとても長く感じました。
「どき。」

わたしの肩に何か触れています。まさかと思つてわたしが振り返ると、そこには障害のある人が立っていました。どうしようと胸がどきどきしていると、その人が、
「これあげる」と言つて、ジュースを差し出してくれました。わたしの緊張は最高に高まり、その中でやっと「ありがとうございます」と言うことができました。
(なんて優しい目をしているんだろう)と思ひ、ぼーっとしていると、「何年生ですか」と話し掛けてきました。その後、わたしは数回言葉を交わしてジュースを飲み始めましたが、これまでの緊張がいつの間にか落ち着きに変わっている自分に気が付きました。
それからわたしは、たくさんの障害のある方々という話をしました。どの人も、とても優しく、わたしの言葉に「いねいに答え

てくださいました。

わたしはこれまで障害のある人からは、できるだけ避けたいと思つていました。でもそれは、大きな間違いであることに気付いたのです。

もし、わたしが障害のある体で生まれてきたとしたら、その障害だけを見て避けられたり、嫌なことを言われたりしたら、とても悲しいと思います。やはり、一人の人間としてみんなと同じように接してほしいと考ええると思います。

わたしはチャリティービアガーデンに行つて、障害のある方々の優しさに触れることができ、本当によかったと思います。避けるのではなく、話し掛ける勇氣、相手を思いやる心を与えてくれたのですから。

イ・ロ・ト・リ・ド・リの 世界へ

しかし、本町としてのこういった計画推進を「障害者施策」とはいうものの、「障害者」と呼ばれる人を特別扱いしているわけではありません。

それは、日本国憲法第25条に「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とうたつてあるとおり、最低限の生活を営むことが困難な人への福祉というなくてはならない制度なのです。

ただ、福祉という制度がいくら整備されたとしても、それだけで「障害者」と呼ばれる人たちが社会に出て快適に生活できるわけではありません。それは社会生活の中では「人とかかわり」というものが欠かせないからです。

ご承知のとおり、仕事をするにしても、買い物をするにしても、社会生活を営むうえではすべて「人とかかわり」が存在します。それはわたしたちの身の回りに「普通に」あるものです。そして、快適な生活を求めることは誰にで

もある「普通の願い」です。しかし、いまだ「障害者」と呼ばれる人たちへの理解が叫ばれている現状を鑑みれば、彼らを取り巻く社会こそがその「普通の願い」を彼らに特別なものとして作つてしまっているのかもしれない。

取材を進める中で、上村さんの友人がこう話しました。
「わたしはてっちゃん(上村さん)を小さいころから知っていて、『友達』としてしか考えていません。ですから、特別な感じでこうやって取り上げられるのは違和感があります。正直、何でてっちゃんが?という感じがします」。

この言葉にこそ、誰もが「普通」に望んでいる快適な生活、「イロトリドリの世界」が広がっているように思えてなりません。

~誰もが「普通」に生きる社会~
ノーマライゼーション





オープニングを飾った「サンバカーニバルin三股」(10日)



東国原英夫知事の飛び入り参加に場内は歓喜の声が(10日)

4万5,000人が彩った 第17回三股町ふるさとまつり

「第17回三股町ふるさとまつり」は、11月10日、11日の2日間にわたり、ふれあい中央広場をメイン会場に開かれ、今年は約4万5,000人の人出でにぎわいました。

まつりは、地場産業や文化の発展などを目的に、町や商工会、JA都城三股支所、各種民主団体などで構成される実行委員会が企画したものです。

また、武道体育館では同2日間にわたり「第17回三股町文化祭」を開催。書道や絵画、創作物など、個人や団体から出展された約3000点を展示しました。



地元ミュージシャンがまつりを盛り上げた(10日)



笑顔があふれる子どもの広場(国際交流員・児童館コーナー、10日、11日)



郷土芸能をはじめ、多彩な彩りをみせたメインステージ(10日、11日)



武道体育館で開催された文化祭には、3000点もの創作物などが展示された(10日、11日)



まつりに合わせた山王原・仲町地区の交通安全・防犯パレード(10日)



ふるさとまつりポスターコンクールで会長賞を受賞した上之園結子さん(小1)



廃油ローソクがまつりの夜を照らす(町女性団体連協、10日)



平成19年度 三股町表彰

功績をたたえて



町は11月3日、平成19年度三股町表彰式を文化会館で行い、12人、2団体を表彰しました。表彰は町政の振興や町民福祉の増進、文化の発展向上などに優れた功績のあった個人、団体を顕彰するもので、毎年文化の日に式典を行っています。本年度受賞された皆さんは次のとおりです。功績を簡略してお知らせします。



功労賞(行政部門) 小牧利美さん

平成6年9月から19年4月まで4期12年8カ月にわたり、町議会議員として住民福祉の向上に尽力。平成13年5月から15年4月まで議長を務めました。



功労賞(行政部門) 宮田雄雄さん

昭和62年5月から平成19年4月まで5期20年にわたり、町議会議員として住民福祉の向上に尽力。平成15年5月から17年4月まで副議長を務めました。



行政特別功労賞 的場 茂さん

昭和54年5月から平成19年3月まで通算6期23年3カ月にわたり、町議会議員として住民福祉の向上に尽力。平成9年5月から11年4月まで議長を務めました。



行政特別功労賞 来畑浩二さん



功労賞(体育部門) 飯千裕一さん

町文化協会常任理事として、永年にわたり協会の充実と発展に尽力。三股郷土史研究会役員として機関紙「ふるさとみまた」の発行に努めています。



功労賞(芸術部門) 指宿義正さん

平成19年度全国和牛能力共進会第9区(肥育)の部で優等一席チャンピオンを受賞。肥育牛部会員として生産技術の向上に努めています。



功労賞(産業部門) 福永 昇さん

平成7年5月から19年4月まで3期12年にわたり、町議会議員として住民福祉の向上に尽力しました。



功労賞(行政部門) 別府久光さん



功労賞(体育部門) 富永敬博さん

平成18年度宮崎県中学校駅伝競走大会に出場し、区間新記録を樹立。同年第26回九州中学校駅伝競走大会に第2区走者として区間賞を獲得しました。



功労賞(体育部門) 的場一樹さん

平成19年度全国中学校総合体育大会第34回全日本中学校陸上選手権大会女子800mの部で日本一の栄冠に輝きました。



功労賞(体育部門) 栗立美樹さん

三股中学校剣道部の主将として、平成19年度全国中学校総合体育大会剣道競技団体の部の優勝に貢献するとともに、個人の部で準優勝を果たしました。



功労賞(体育部門) 東郷知大さん



善行賞(団体) 株式会社 都城北諸地区清掃公社

昭和46年設立。以来、地域密着型の「地場企業」として発展。今回、本町のまちづくりのために多額の寄付をしました。



功労賞(体育部門) 三股中学校剣道部男子



**町の畜産業が猛進！
共進会各部門で上位**

5年に1度開催される全国和牛能力共進会(第9回)が10月11日～14日に鳥取県で行われ、福永昇さん(蓼池)の肥育牛が、第9区(去勢肥育牛)の部で全国各地を勝ち抜いてきた全74頭の中で、見事優等賞首席(全国1位)を受賞しました。

また、第54回宮崎県畜産共進会(10月5日～6日・新富町、23日・ミヤチク高崎工場)では、肉用種牛の部で大村福一さん(上米)の種牛が優等賞四席に入賞。同枝肉部門では、肉豚枝肉の部で(有)石坂ファーム(稗田)の肉豚枝肉が見事優等賞首席(チャンピオン)を受賞するなど、本町畜産業の高い技術と品質の高さをアピールしました。



写真は福永昇さんと日本チャンピオン(第9区)の肥育牛



**みまたにひろがれ
ボランティアの輪**

10月20日、ボランティア連絡協議会と社会福祉協議会共催の「第11回ボランティアまつり」が総合福祉センター「元気の杜」で開かれました。会場には、ハンディキャップ体験や創作などのコーナーが設けられ、約600人の人出でにぎわいました。メインステージでは、歌や舞踊、車いすダンスなど多彩なステージで来場者を楽しませました。現在、町内ボランティア登録者は454人。ボランティアの輪が着実に広がっています。



「今年で3回目の参加です。今後もっとたくさんの方にボランティアを知ってもらい、輪を広げたいと思います。」
花みずき 柴畑洋子さん

**温かみのある福祉と
健康のまちづくりを
社会福祉大会**

10月20日、町は「第12回社会福祉大会」を文化会館で開催しました。大会には福祉関係者や町民など約400人が参加。社会福祉向上に貢献した人や福祉啓発作文優秀者など26人2団体を表彰しました。



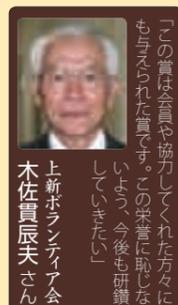
表彰後は、フリーアナウンサーの酒井淳子さんが「言葉の力を信じよう」と題し、記念講演。また、三股小学校と三股西小学校両合唱部の歌や、都城泉ヶ丘高校音楽部の演奏も大会を盛り上げました。なお、受賞者は次のとおりです(敬称略)。

【社会福祉功労者永年勤続者】
(社会福祉施設、民間社会福祉団体の役員または職員でその功績が特に顕著である人) 永崎志津代・樋渡美子・大坪千穂子・時任ミドリ・中野スズ子・大村サツ

【社会福祉民間奉仕者・団体】
(身体障害者世帯で、よくその障害や苦難を克服し、現在自立更生して他の模範となる人) 小橋口ミツ(多年にわたり寝たきり高齢者に献身的な介護を行った人) 佐澤フミ(ボランティアグループとして過去10年以上率先して活動を行い、現在も活動中の団体) 上新ボランティア会、ぶどうの会

【さんさんクラブ三股会長表彰】
【社会福祉功労者永年勤続者】 荒武タミ・木佐貫光・新留光則・樺山次夫・丸田紀子・草留貞貴・今村文子(寝たきり者介護の部) 川原純市・東村幾子・永田勇・山元豊・橋口英子

【福祉啓発作文表彰】
小学生の部 最優秀賞*山田真由(梶山小5) / 優秀賞*吉田智美(三股西小5)・江頭広太郎(梶山小5)
中学生の部 最優秀賞*福永夏穂(2年) / 優秀賞*永友里穂(2年)・原口峻一(2年)



「この賞は会員や協力してくれた方々にも感謝したいと思います。この卒業を助けて下さった方々、いっしょに今後を研鑽していきたい。」
上新ボランティア会 木佐貫辰夫さん



**県民ブレイン座談会
知事と町民14人が意見交換**

10月25日、東国原英夫知事と県民による座談会、「第10回県民ブレイン座談会」宮崎をどげんかせんといかん」が、役場で開催されました。これは、県民から自由な意見を聞き取り、県民が総力をあげて宮崎の未来を作り出すという県の試みです。座談会では、東国原知事が「本町の住民自治、地方自治のために皆さんの意見をお



参加者(順不同)

穴井恵さん、吉村麻子さん、上西窪夏美さん、福山陽子さん、佐澤美雪さん、木下行春さん、今村博美さん、内由紀子さん、山元隆之さん、馬場弘樹さん、内村ノリ子さん、趙琳娜さん、上牧正輝さん、大村田三吉さん

**町と県が税務職員の人事交流
共同で税収の確保を**

地方税の収入確保、税務職員相互の徴収技術の向上を目的とする、町税務職員と都城県税事務所職員との併任人事交流が11月1日から始まりました(翌年2月末まで)。本年度、所得税から住民税(市町村民税・都道府県民税)に3兆円の税源移譲が行われ、地方公共団体の収入は自主財源(税収)の確保が重要な課題となってきました。そのため、町と都城県税事務所は、協力して捜索、財産などの差し押さえ、個別徴収といった滞り納整理に力を入れていきます。本町職員は3人がこの併任期間に県税事務所に出向。都城県税事務所からは4人の職員が本町で税の徴収事務に従事します。



**「子どもの声を聞く会」
子どもの目線から訴える**

11月3日、町青少年育成町民会議主催の「子どもの声を聞く会」が、文化会館で開催されました。将来についての意見や日ごろ考えていることを子どもたちに発表してもらい、青少年の健全育成に役立てていくという取り組みです。意見発表を行ったのは各小中学校の代表者8人。「大好きな宮村」「お父さんへ」など、題して元気よく発表しました。中には祖父の死を通して命の尊さを涙ぐみながら訴えた意見発表もあり、場内でも涙を流す場面も。子どもたちの目線からの訴えに、出席した町民団体の代表や学校関係者は終止真剣な表情で聞き入っていました。



**ふるさとを愛する
郷土史研究会、内閣府が顕彰**

年齢にとらわれず、自らの責任と能力でいきいきとした生活を送る高齢者団体に内閣府から贈られる「エイジレス・ライフ社会参加章」を、三股郷土史研究会(川原勝会長・23人)が受賞しました。同会は昭和57年に発足以来、本町の歴史を記した「ふるさとみまた」を毎年発刊。そのほか、史跡の実地調査や史跡案内など精力的な社会参加活動が高く評価されました。平均年齢80歳の同会。本章で今後の歴史文化の継承に一層の意欲をみせました。



「本章は先輩たちの継続のたまもの。後継者を育て、『ふるさとみまた』を地域の交流誌として発展させていきたい。」
三股郷土史研究会会長 川原勝さん

お知らせ

**来年は町制60周年です！
昭和23年以降の写真を
お貸しください！**

昭和23年5月3日に町制が施行されて以来、本町は来年で60周年を迎えます。そのため、町では、60年間の町内のあらゆる地域の行事、施設、道路（通り）など、町の歩みを記録した写真を募集します。お借りする写真は、データ化した後、返却し、60周年記念誌に掲載するほか、60年の歩みとして展示を行う予定です（いずれも写真提供者の氏名を掲載させていただきます）。

つきましては、次のとおり募集しますので、町民の皆さんが所有する写真をぜひご提供ください！

■募集写真＝
昭和23年5月3日以降の町内行事、施設、道路（通り）の写真。人物を対象としている写真も可。

例：昭和25年の中学校入学（卒業）式風景、昭和30年の子どもたちの遊び、昭和40年の地域行事 など

※いつ撮られたものか、何を撮ったものか、エピソード（逸話）、住所、氏名、連絡先をご明記のうえ（写真提供者の紹介・返却に利用します）、ご提供ください。なお、提供者の個人情報は、本目的以外に使用することは一切ありません。

■募集期間＝1月18日（金）まで

■写真受け付け・問い合わせ
総務企画課 企画政策係
☎52-1111（内線225）

転入学児童募集

町教育委員会では町内小学校で、本来の通学区域から一定の条件のもとに通学区域外への転入学を希望する児童を募集します。

■受け入れのできる対象校＝
長田 小学校をモデル指定校とします。

■転入学の条件＝
転入学を希望する児童の本来通学すべき学校が小規模校でないこと。

①学校長の意見書が必要です。
②保護者の責任が伴います。

③在学期間は1年以上で、原則として卒業までとします。

■募集期間＝2月22日（金）まで

■申し込み・問い合わせ
教育課 学校教育係
☎52-1111（内線422・423）

**平成20年度三股町要保護・
準要保護児童生徒援助
費（以下「就学援助費」
という）の募集について**

町教育委員会では経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費などの援助を行っています。平成20年度就学援助費の募集要領は次のとおりです。

■援助を受けられる対象者＝
生活保護を受けている人に準じる程度に困窮している人。

■申し込み方法＝
各小中学校に用意してある申込書に必要事項を記入し学校へ提出してください。児童生徒1人につき、1件の申し込みが必要です。

※来年度小学校入学予定児童は入学予定の小学校へ申し込みください。

■必要な書類など＝
平成18年分源泉徴収票または世帯用の所得課税証明書など、世帯（同居している人全員）の総所得が分かるもの。

■認定審査の方法＝
提出された書類の内容・地区民生委員、学校長の意見を参考にしながら、教育委員会で審査、認定を行います。

※そのほか詳しいことは下記までお問い合わせください。

■問い合わせ
教育課 学校教育係
☎52-1111（内線423）

製造事業所の皆さまへ

平成19年工業統計調査を12月31日現在で行います。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されているところです。

調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、製造事業所の皆さまには、正確なご記入をお願いします。

経済産業省・宮崎県・三股町
■問い合わせ
総務企画課 企画政策係
☎52-1111（内線225）

**来年3月1日から、たばこ
自動販売機ではIC
カード「taspo（タスポ）」
が必要になります**

児童健全育成の立場から、未成年者の喫煙防止、たばこ購入防止の更なる強化を図るため、来年3月から、成人だけに発行されるICカード「taspo（タスポ）」がないと自動販売機ではたばこが買えなくなります。

この取り組みは、社団法人日本たばこ協会・全国たばこ販売協同組合連合会・日本自動販売機工業会が主体となって行っています。taspo（タスポ）の申し込み方法など、詳しくは最寄りのたばこ販売店、または下記までお問い合わせください。

■問い合わせ
社団法人日本たばこ協会
taspo運営センター
タスポダイヤル（12月開設）
☎0120-222-180（通話料無料）

※携帯電話からは
☎0570-012-340（通話料無料）

**平成20年用宮崎県民
手帳を販売します！**

今年も平成20年用宮崎県民手帳を販売します。

県民手帳は、県や市町村の各種統計や県内の主な行事などが収録しており、お仕事や日常生活に大変役に立つ手帳です。ぜひ、県民手帳のご愛用をよろしくお願いします。なお、購入を希望する人は、

下記の場所でご購入ください。

冊数に限りがありますので、早めの購入をお願いします。

■品名＝宮崎県民手帳
タテ15㌘ ヨコ9㌘

■金額＝1冊500円（消費税込み）

■販売期間＝1月31日（木）まで

※ただし、土・日・祝日、12月29日から1月3日を除きます。

■販売場所＝役場案内窓口、総務企画課

■問い合わせ
総務企画課 企画政策係
☎52-1111（内線225）

**寝具洗濯乾燥消毒サービス
事業の申し込みについて**

身体障害者とおおむね65歳以上の高齢者のうち、老衰・心身の障害、疾病などの理由で寝具類の衛生管理が困難な人に対して、布団（寝具）の丸洗い、乾燥、消毒を無料で行います。

■申し込み受付期間＝1月8日（火）まで

■サービス実施日＝
回収日：1月23日（水）
返却日：1月30日（水）

■対象者＝
・身体障害者
・寝たきりの人・ひとり暮らしの人
・同居家族が高齢者だけで構成される世帯の人・その他、同様の理由が認められる人

※対象者の選定は、地域包括支援センターの職員が訪問調査をして、利用の可否を決定後、通知します。

■申し込み・問い合わせ
町地域包括支援センター
☎52-8634

**国民基本台帳の閲覧を
公表します**

住民基本台帳法に基づき、住民基本台帳の一部の写しの閲覧があったものを次のとおり公表します。平成18年11月1日～19年10月31日までの期間で閲覧件数は2件でした。

■閲覧内容＝
1、申出者：社団法人新情報センター事

務局長 平谷伸次

閲覧年月日：平成18年11月15日
閲覧にかかる住民範囲：20歳以上の個人、三股町大字宮村1839番地以後の13人

利用目的：家族（家族構成）に関する世論調査の対象名簿作成のため。調査主体 内閣府政府広報室

2、申出者：厚生労働省大臣官房統計情報部社会統計課国民生活基礎調査室調査第一係

閲覧年月日：平成19年6月19日
閲覧にかかる住民範囲：調査世帯の内、調査不能世帯について閲覧

利用目的：保健、医療、福祉、年金、所得など、国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画・立案に必要な基礎資料とする

■問い合わせ
町民保健課 戸籍住民係
☎52-1111（内線115）

**放送大学平成20年度
第1学期学生募集**

—放送大学はテレビとラジオで授業を行う、国が設置した正規の大学です—

■教養学部＝

【募集期間】
12月15日（土）～平成20年2月15日（金）

【募集学生】
○全科履修生（卒業を目指す学生）
○選科履修生（1年間在学する学生）
○科目履修生（半年間在学する学生）

※満18歳以上で大学入学資格を持つ人は全科履修生に、満15歳以上であれば誰でも選科・科目履修生として入学することができます。

※入学試験がなく、自宅で大学の授業が受けられます。

※宮崎市教育情報研修センターに宮崎市分室があり、一部の科目について、番組再視聴できます（詳しくは下記までお問い合わせください）。

■大学院＝
『1年間または半年間在学し、自分の学習・研究したい科目を選択、履修する学生』

【募集期間】
12月15日（土）～平成20年2月15日（金）

【募集学生】
○修士選科生（1年間在学する学生）
○修士科目生（半年間在学する学生）

※満18歳以上であれば、誰でも入学できます。入学試験はありません。

※1科目からでも学べます。

※宮崎市教育情報研修センターに宮崎市分室があり、一部の科目について、番組再視聴できます（詳しくは下記までお問い合わせください）。

■資料請求・問い合わせ
放送大学宮崎学習センター
〒883-8510 日向市本町11-11
☎0982-53-1893
FAX0982-53-1898（月・祝日休）
放送大学ホームページ
http://www.u-air.ac.jp
願書請求
フリーダイヤル☎0120-864-600

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございました。

三股町社会福祉協議会
平成19年10月1日から31日まで

寄付者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
岩崎 圓子	夫	保 保	79	下新	3万円
田口フサ子	夫	善正	83	前目	5万円
新森マズエ	夫	辰夫	79	前目	3万円
蔵元 武義	妻	鈴子	62	上米	3万円
小牧 一郎	母	イハ	93	稗田	3万円
時任 悟	父	義則	86	谷	3万円
田中 政美	母	ソダ	99	髪嶺	2万円
草留 君江	夫	透	96	勝岡	5万円
坂元トミ子	夫	重春	85	東植木	3万円
森 俊彦	母	操	98	下新	3万円
竹内ことみ	夫	学	72	櫛田	3万円

一般寄付（社会福祉協議会へ）

三股町商工会チャリティゴルフコンペ
…………… 4万440円

※お詫びと訂正 11月号特集「魂の伝承」の9p 郷土芸能の写真の中で、「新馬場橋通り」としていた写真は「上米榊通り」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

Children 子ども

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●赤ちゃん健診

- 期日=平成20年1月11日(金)
- 受付=午後1時15分~1時45分
- 持ってくるもの=母子手帳

●もぐもぐ(離乳食)教室

- 期日=12月21日(金)
- 時間=午前9時30分~正午
- 持ってくるもの=母子手帳、バスタオル、おんぶひも
エプロン、三角きん ※託児あり

子育て支援センターからのお知らせ

●子育て支援センター ☎52-8101

●親子教室

- 期日=12月4日(火)
- 時間=午前10時~11時
- 場所=総合福祉センター「元気の杜」大会議室
- 内容=「救急蘇生法」

●ボンジュール・ヤナ!

- 期日=12月11日(火)
 - 時間=午前10時~11時
- 町の国際交流員であるフランス人のヤナさんとお話しやゲームをしてみませんか!

●友達つくろう!一緒にあそぼう!

- 期日=12月20日(木)
 - 時間=午前10時~11時
- 子育てサークル「いもん子クラブ」さん

●親子ふれあいコンサート(小さな音楽会)

- ☆クリスマスコンサート☆
- 期日=12月25日(火)
- 時間=午前10時~11時
- 場所=総合福祉センター「元気の杜」大会議室

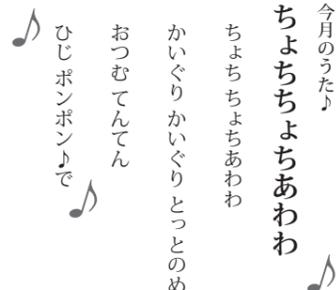


昨年も盛り上がった「クリスマスコンサート」

1月の行事予定

親子教室

- 期日=1月29日(火)
- 時間=午前10時~11時
- 内容=お面作り
- *節分に向けて、かわいい鬼のお面をみんなで作ります!



General 一般

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●リズムウォーキング

- 期日=12月17日(月)
- 時間=午前11時~正午

※ストレッチや「歩く」動作を中心とした運動を1時間程度行います。

●女性の健康を支援します!!

宮崎県では、女性の健康への悩みに対応するための事業を行っています。次の①と②については県内3カ所の保健所(中央・都城・延岡)で実施していますが、今回は都城保健所での内容を紹介します。

①不妊専門相談センター「ウイング」

- 対象者=不妊に悩む人、不妊治療を希望する人など
- 場所=都城保健所(都城市上川東3-14-3)
- 相談日=毎月第2・4金曜日(祝日休)
- 時間=午前9時30分~午後3時30分

■相談対応者=不妊カウンセラー、不妊専門相談員、医師

※医師による面接は、必要に応じて対応します。

■費用=無料

■相談方法=面接、電話、メール

【専用電話】☎090-8912-5331

【保健所代表電話】☎23-4504

【メールアドレス】wing@pref.miyazaki.lg.jp

②女性専門相談「スマイル」

- 対象者=健康上の悩みを持つ女性や思いがけない妊娠で戸惑っている人など

■相談内容=妊娠、避妊、婦人科疾患、更年期障害、性感染症、がん、心の悩みや思春期についてなど

■場所=都城保健所(都城市上川東3-14-3)

■相談日=毎週木曜日(祝日休)

■時間=午前9時30分~午後3時30分

■相談対応者=保健師・助産師・心理相談員(すべて女性)

■費用=無料

■相談方法=面接(予約制)、電話、メール

【専用電話】☎090-8912-5331

【保健所代表電話】☎23-4504

【メールアドレス】smile@pref.miyazaki.lg.jp

③女性専用外来

- 県立宮崎病院「ひまわり」・県立日南病院「わかば」
- 対象者=小児(15歳まで)を除くすべての女性
- 相談日=「ひまわり」…第1・2・4金曜日
「わかば」…第3金曜日(どちらも祝日休)
- 時間=午後1時~4時(どちらも同じ)
- 相談対応者=医師・看護師(すべて女性)
- 費用=有料(診療報酬として取り扱います)
- 方法=診察

※完全予約制で診察日の2カ月前~2日前までに電話で予約してください。

【電話】「ひまわり」☎0985-38-4107

「わかば」☎0987-23-8011

【受付時間】月~金曜日の午後1時~5時(祝日休)

Advanced age 高齢者(介護保険) Long term care Insurance

インターネットで調べられます!「介護サービス情報の公表」制度

●介護高齢者係(内線162・163)

介護保険制度は「利用者本位」「高齢者の自立支援」「利用者による選択(自己決定)」を基本理念としています。介護サービス情報の公表は、利用者が介護サービスや事業所・施設を比較・検討して適切に選ぶための情報をインターネットなどで提供する仕組みです。

現在対象となっている介護サービス

○平成18年度から施行分

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、通所介護、特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム・経費老人ホーム)、福祉用具貸与、居宅介護支援

介護老人福祉施設、介護老人保健施設

○平成19年度から施行分

訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、介護療養型医療施設

※ほかのサービスについては、調査研究や実施体制などの準備を経て、順次追加されます。

公表されている情報

「基本情報」と「調査情報」が公表されています。「基本情報」は、職員体制、利用料金などの基本的な事実情報で、事業所が報告したことがそのまま公表されます。

「調査情報」は、介護サービスに関するマニュアルの有無、サービス提供内容の記録管理の有無など、事業所が報告した情報について指定調査機関が事実確認の調査を行った後に公表されます。

★ポイント

- ・地域にある介護サービス事業所の比較・検討ができます。
- ・いつでも誰でも自由に情報を入手することができます。
- ・家族をはじめ、介護支援専門員(ケアマネジャー)などと同じ

情報をもとにサービス利用の相談がしやすくなります。

- ・事業所が公表している情報と、実際のサービスが比較できるので、介護サービス事業所との相談がしやすくなります。
- ・実施主体は都道府県または指定情報公表センターです。宮崎県の「介護サービス情報の公表」は、下記のホームページから利用できます。

○宮崎県介護サービス情報公表システム

http://kouhyou.kokuhoren-miyazaki.or.jp/kaigosip/Top.do

地域包括支援センターからのお知らせ

●地域包括支援センター ☎52-8634

介護予防事業のご案内(2)

現在、介護予防事業として65歳以上の(*1)特定高齢者を対象に「骨コツ貯筋教室」を総合福祉センター(元気の杜)で実施しています。教室の目的は、介護予防(転倒予防・口腔機能向上・うつ予防)などの意識向上や、実際の要介護状態への移行を防止するものです。

昨年実施して、今年で2年目の教室です。専門の運動指導士・理学療法士に指導してもらい内容的にも充実しています。頻度は週1回(水曜日 午後1時~2時30分)で、参加人数は1回約20~25人程度です。

(*1)特定高齢者:今のままでいると要介護状態になる可能性が高い虚弱高齢者



教室の風景

なお、この教室は「基本チェックリスト」「生活機能評価」(医師の診察)で特定高齢者と選定されなければ参加できません。詳細については、地域包括支援センター(☎52-8634)までご連絡ください。

前回お知らせした「足もと元気教室」の各地区での日程は、次のとおりです(月に1~2回の教室です)。

地区名	時間	場所	日程
蓼池	午前9時30分~11時	蓼池児童館	12月6日
			12月20日
轟木	午後1時30分~3時	轟木集落館	12月25日
植木	午後1時30分~3時	西植木コミュニティセンター	12月12日 12月26日
中原	午前9時30分~11時	中原コミュニティセンター	12月12日 12月26日
前目	午後1時30分~3時	前目研修館	12月19日
寺柱	午後1時30分~3時	寺柱青年の家	12月13日
餅原	午後1時30分~3時	餅原研修館	12月17日
梶山	午前9時30分~11時	第4地区分館	12月19日
谷	午後1時30分~3時	谷青年の家	12月4日
今市	午前9時30分~11時	今市児童館	12月3日

今後は、毎月ご案内します。



いきいきげんき!

～大人もいっしょに「食育」～

毎月19日は食育の日

● 問い合わせ：
健康管理センター
☎52-8481

★たのしく・かしく・きちんと食べる★

旬の食材は おいしい! 栄養価が高い! 安い! といいことづくしです。
旬の食材を使った健康バランス食を紹介しします。ご家庭での献立にご利用ください。



12月の旬食材…ほうれん草 カロテンやビタミンC、鉄分を多く含む緑黄色野菜の代表です。根元の赤い部分には骨を丈夫にするマンガンが豊富です。アクにはカルシウムの吸収を妨げるシュウ酸が含まれていますが、ゆでることで水に溶け出します。最近シュウ酸の少ない生食用のものも手に入ります。(表示の材料はすべて1人分です)

◎緑の皿 ほうれん草サラダ

【副菜1つ(SV)】 180kcal/塩分1.0g
材 料 ほうれん草…70g、カニかまぼこ…1本、薄口しょうゆ…小さじ1/4、マヨネーズ…小さじ1/2、いりごま(白)…小さじ1/2
つくり方 ①ほうれん草は色よくゆでて5mm長さに切り、よくしぼる。②カニかまぼこは5mm長さに切って、裂く。③タレの材料を合わせ、ほうれん草、カニかまぼこを和える。

◎白の皿 コーンミルクスープ

【副菜1つ(SV)・牛乳2つ(SV)】 240kcal/塩分1.5g
材 料 クリームコーン…100g、玉ねぎ…25g、サラダ油…小さじ1/2、牛乳…1カップ、コンソメ…1/2コ、パセリのみじん切り、塩・こしょう
つくり方 ①玉ねぎのみじん切りにして、鍋にサラダ油を入れ、透き通るまで炒める。②クリームコーンと牛乳、コンソメを加え軽く沸騰させる。③塩・こしょうで味をととのえ、パセリを散らす。

◎赤の皿 鶏手羽元のオレンジ煮

【主菜2つ(SV)】 240kcal/塩分2.7g
材 料 鶏手羽元…3本、マーメレード…30g、しょうゆ大さじ1
つくり方 ①鶏肉とマーメレード、しょうゆを鍋に入れ、ひたひたになるくらいまで水を入れて、弱火にかけコトコトと煮る。②皿に握りやすくアルミホイルを巻いた、鶏手羽元を盛る。

◎白の皿 りんごのあったかデザート

【果物1つ(SV)】 260kcal/塩分0g
材 料 りんご…1/2コ、砂糖…大さじ1 【ソース】アーモンドダイス…大さじ1/2、砂糖…大さじ1、バター…小さじ1、赤ワイン…大さじ1、生クリーム…大さじ1
つくり方 ①りんごは皮をむき、縦半分に切り、芯をくりぬく。砂糖をまぶし、耐熱皿に並べラップをかけて電子レンジで7～8分加熱する。②フライパンでアーモンドを軽く炒り、バター、砂糖、ワインを加えて軽く煮る。③りんごを汁ごと器に盛り、ソースをかけ、生クリームをかける。

食育って? 毎日の食事によって身体が作られ、食事の質によって健康の質まで変わってしまいます。食べ物を選ぶ力、正しい知識を身につけ、心も体も健全な食生活を実践することができる人間を育てる教育のことです。

税

● 問い合わせ：税務財政課 TEL 52-1111(代) FAX 52-4944

12月25日(火)は納付期限です

- 納税管理係(内線144・147)
納付期限内に納付しましょう。
- 国民健康保険税(6期)
※口座振替は12月25日(火)が振替日です。再振替は行っていません。21日(金)までに預貯金口座の残高確認をお願いします。
残高不足などで振替ができなかった場合は、その納期分の納付書を送付しますので、納付書で納めてください。

「納税相談」ご利用ください

- 納税管理係(内線144・147)
税金は納付期限内に納めていただくのが原則ですが、

・町税の納付は「安心・便利・確実」な口座振替のご利用を! ・この社会 あなたの税がいきている ・たばこは町内で買いましょ

みまた 暮らしのカレンダー

10. December 2007 ~ 7. January 2008

※診療時間 午前9時～午後6時
※やむを得ず変更する場合がありますので ☎23-5555でご確認ください。
(※夜間/都城救急医療センター ☎39-1100)
※歯科については ☎25-4100に 問い合わせてください。

◎12月の予定

10月	・不燃物	・図書館休館日
11火	・可燃物	
12水		
13木	・トレイ・ベット	
14金	・可燃物	
15土		
16日	◎坂元医院(内・胃) ☎22-0360(牟田町) ◎河村医院(内・小) ☎39-5868(梅北町) ◎坂田医院(内・消・胃) ☎51-2003(三股町) ◎三州病院(外・胃・内) ☎22-0230(花線町) ◎酒井皮膚科(皮) ☎25-5322(北原町) ◎西浦耳鼻科(耳鼻) ☎22-0715(松元町)	
17月	・不燃物	・図書館休館日
18火	・可燃物	
19水		・図書館休館日
20木	・缶・びん	
21金	・可燃物	
22土		
23日	◎瀬ノ口医院(内・消) ☎25-5155(姫城町) ◎久保原田中(内・小) ☎22-7700(久保原町) ◎長倉医院(内・小) ☎52-2109(三股町) ◎西平外科(外・胃) ☎25-5551(久保原町) ◎福島外科(外・胃) ☎38-1633(都北町) ◎宮田眼科(眼) ☎22-1441(蔵原町) ・図書館休館日	
24月	◎野辺医院(内・胃) ☎22-0153(上 町) ◎いづみ内科(内) ☎22-7111(鷹 尾) ◎海老原内科(内・小) ☎64-1211(山田町) ◎柳田病院(小・内) ☎22-4862(東 町) ◎とまり内科外科胃腸科(内・外・胃) ☎52-1135(三股町) ◎北原医院(産・婦) ☎22-4133(北原町) ・図書館休館日	
25火	・可燃物	
26水	・不燃物	
27木	・トレイ・ベット	
28金	・可燃物	・図書館休館日
29土	◎宮永病院(内・胃・外) ☎22-2015(松元町) ◎沖水子どもクリニック(小) ☎27-5656(太郎坊町) ◎佐々木医院(内) ☎62-1103(高崎町) ◎飯田整形外科クリニック(皮) ☎46-5115(上 町) ◎横山病院(産) ☎22-2806(都島町)	

29土	◎野田医院(産・婦) ☎24-8553(蔵原町) ・図書館休館日
30日	◎共立医院(内) ☎22-0213(蔵原町) ◎下長飯クリニック(外・内) ☎39-0800(下長飯町) ◎山田医院(内・小・リウ・アレ) ☎64-2816(山田町) ◎橋整形(整) ☎23-7236(中 町) ◎一心外科(外・胃・肛門・内) ☎52-7788(三股町) ◎すみ産婦人科(産・婦) ☎23-1152(東 町) ・図書館休館日
31月	◎藤元早鈴(内) ☎25-1212(早鈴町) ◎園田光正内科(内) ☎38-5115(太郎坊町) ◎たけしたこども医院(小) ☎51-0005(三股町) ◎ながはま整形外科(整) ☎46-7188(都北町) ◎速見医院(産) ☎24-8344(妻ヶ丘町) ◎中山産婦人科(産・婦) ☎23-8815(前田町) ・図書館休館日

◎1月の予定

1火	◎三嶋内科(内) ☎24-7171(鷹 尾) ◎鶴木内科医院(産・内) ☎26-0008(花線町) ◎教山医院(内・小) ☎62-1205(高崎町) ◎小牧病院(整) ☎24-1212(立野町) ◎吉見病院(外・整・内) ☎58-5633(高城町) ◎小山田眼科(眼) ☎22-0710(松元町) ・図書館休館日	
2水	◎山内小児科(小) ☎22-0048(上 町) ◎戸嶋病院(内) ☎22-1437(都元町) ◎隅病院(内・胃) ☎62-1100(高崎町) ◎都北飯島クリニック(胃・内・外) ☎38-6060(都北町) ◎寺本整形(整) ☎22-1171(北原町) ◎きたむら皮膚科クリニック(皮・アレ) ☎38-7300(吉尾町) ・図書館休館日	
3木	◎村上クリニック(産・内) ☎25-2700(宮丸町) ◎富田医院(内・小) ☎23-4586(栄 町) ◎出水医院(内) ☎59-9424(高城町) ◎宗正病院(外) ☎22-4380(八幡町) ◎姉川医院(皮・産) ☎22-2205(小松原町) ◎中山耳鼻科(耳鼻) ☎24-2648(妻ヶ丘町) ・図書館休館日	
4金	・可燃物	・図書館休館日
5土		
6日	◎宇宿医院(内・小・胃) ☎25-9031(栄 町) ◎西浦病院(内) ☎25-1119(広原町) ◎昌中医院(内) ☎52-6000(三股町) ◎吉松病院(外・整) ☎25-1500(蔵原町) ◎ならはら皮膚科(皮膚) ☎22-1455(志比田町) ◎永吉眼科(眼) ☎22-1530(姫城町)	
7月	・不燃物	・図書館休館日



◎今月の表紙

『イロトリドリの世界へ』



笑顔が彩る社会へ

本特集でいうところの誰もが望む『イロトリドリの世界』は「色彩豊かな世界」ではなく、個々の心の平穏です。それは自分自身をはじめ、家族や友人、近所の人、そして地域という広がりによって生み出される笑顔なのではないでしょうか。(中央写真は、ふるさとまつり・子どもの広場です)

